NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK

商工中金

2026 年 9 月 25 日
商　工　中　金

地域金融機関と協調し、企業価値担保権を活用して 株式会社モガワに対して総額 5 億 5,000 万円のシンジケートローンを組成

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下「商工中金」）の**沼津支店**は、**株式会社モガワ**（本社：静岡県伊豆市、代表者：最川 研）に対し、2026 年 5 月 25 日に施行された新たな担保制度「企業価値担保権（※1）」を活用し、総額 5 億 5,000 万円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金と**三島信用金庫**（※2）がアレンジャーを務め、**沼津信用金庫**等が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

※1 不動産などの個別資産を担保とする従来型融資とは異なり、企業の事業全体の価値を担保の対象とする新たな制度です。中小企業であっても担保に依拠せず、事業の成長性や改善の蓋然性が評価されることで、金融支援につながります。

※2 商工中金は、三島信用金庫と 2026 年 1 月に、沼津信用金庫と 2026 年 6 月に、「シンジケートローン業務における連携・協力に関する覚書」を締結しています。なお、本件は両金庫との同覚書に基づくシンジケートローンの 1 号案件です。

同社は、リネン類やユニフォームの貸出し・回収・洗濯を一貫して行うリネンサプライ・クリーニング事業を手掛けています。宿泊施設や医療・介護施設など、地域の幅広い顧客にサービスを提供しています。

今回、同社は、本シンジケートローンにより調達した資金を活用して、長短借入金のバランスを是正することにより、営業キャッシュフローと財務キャッシュフローのミスマッチを解消するとともに、将来の積極的な事業展開に向けて、一層の経営基盤の強化に取り組みます。

商工中金は、事業構造を総合的に評価し、個別資産に依拠した融資よりも、事業価値に着目した与信が適切であると判断し、地域金融機関と協調して企業価値担保権を活用した本融資契約を締結しました。本融資では、将来の収益力に影響を与える要素を事業計画やコベナンツに反映させ、金融機関による継続的なモニタリングを通じて、企業価値の変化を把握する枠組みを、地域金融機関と協調して構築しています。

商工中金は今後も、新たな金融制度を積極的に活用しながら、地域金融機関や関係機関と連携し、中小企業金融における事業性評価の高度化と、地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	5 億 5,000 万円 ～コミットメントライン 　タームローン	 2 億 5,000 万円 3 億円
アレンジャー兼エージェント	商工中金	1 億 9,000 万円
アレンジャー	三島信用金庫	1 億 9,000 万円
参加金融機関	沼津信用金庫、他	合計 1 億 7,000 万円
契約締結日	2026 年 9 月 11 日	

【株式会社モガワの概要】

所 在 地	静岡県伊豆市瓜生野 123	資 本 金	1,000 万円
代 表 者	最川 研	従業員数	189 名(2026 年 8 月現在)
業 種	リネンサプライ業	設 立	1962 年 9 月